御津南部小学校　校長室だより
令和６年９月３０日　№22

美都（みと）

季節は一気に秋になりました（上佐脇）

抜き打ち避難訓練を行いました

９月２０日（金）１０時３５分、抜き打ちの避難訓練が行われました。この時刻は、ちょうど放課の時間で、教室を離れて活動をしている子もたくさんいました。そこに、訓練の緊急地震速報が流れました。子どもたちは放送をよく聞き、危険な場所から離れ、頭を守り、次の指示があるまで待ちました。机の下に潜る子もいれば、運動場では中央に集まって姿勢を低くしている様子も見られました。そして、静かに運動場へ避難するよう指示が出されると、今月のどこかで行うことが予告してあったとはいえ、声を掛け合い、みんなスムーズに移動できていました。結果、運動場での点呼完了に要した時間は、約５分でした。あってほしくはありませんが、実際の場合も、これくらいあわてずスムーズに避難してほしいと思います。実際には、担任の先生が集合場所に不在であったり、避難経路の安全が確保されていなかったり、けが人が出たり、不明者がいたりなど、様々な場合が予想されます。今後も、訓練を重ね、臨機応変に対応する力を身につけていく必要があります。

避難訓練の折に話をしましたが、**１３年前の東日本大震災**は、**午後２時４６分**に発生しました。校長先生は、当時、岡崎の小学校に勤めていました。低学年の下校直前で、高学年の人は放課でした。運動場では、たくさんの子が遊んでいました。揺れを感じ、運動場で地震が収まるのを待っていたのを覚えています。地震は、授業中に起きるわけではありません。授業中でないときに起きることのほうが多いかもしれません。だから、地震がいつ起きても「何をするか」普段から考えておくことが大切です。

また、約３０年前に、６０００人以上の人が亡くなった**阪神淡路大震災**という地震災害がありました。この地震が起きたのは、**午前５時４６分**でした。朝６時前です。地震はいつ来るか分かりません。朝かもしれません。お家にいるときかもしれません。登下校の途中や、公園で遊んでいるときかもしれません。いろんな場面で「今、地震が起きたら、どうしたらよいのか」ということを考えておくことが大事です。

ご家庭でも、日頃から、もしもの災害時にはどこに集合するかなど、事前に決めてあるとより安心です。家族がお互いに、まずは自分自身で命を守り、数日後に再会することも考えておくとよいと言われています。

３年生がスーパーを見学

９月１９日（木）、３年生は、中学校の近くにある「たつみストアー」へ見学に行きました。お店の中では、商品や陳列の仕方など、お店の工夫をいっぱい探しました。また、お店の中だけでなく、いつもは入ることができないバックヤードにも入れていただきました。開店直後ということもあり、店員さんたちは忙しそうにお店の中を動き回っていました。店長さんへの質問の時間では、途切れることなくたくさんの子が質問をして、店長さんが、一つ一つの質問に、ていねいに、わかりやすく、答えてくださいました。校長先生は、昨年もたつみストアーに見学に行きましたが、その時もお店に元気があると感じました。

この見学をきっかけに、スーパーの工夫や努力について、子どもたちが夢中になって調べ、たくさんのひみつを発見する姿を期待しています。

PTA親子作業にご協力ありがとうございました

９月２８日（土）、PTAが主催し、子どもたちと保護者、教職員による環境整備作業が行われました。また、西方みどり会やおやじの会、少年野球の方々にもご協力いただきました。夏休み中に草がいっぱい生えてしまった畑や花壇、運動場や中庭、そして、南部山周辺などをきれいにしていただきました。子どもたちは、日頃の掃除をたいへんがんばっていますが、普段の掃除だけでは、人数や時間、安全管理上の問題でなかなかやりきれません。また、今年は、晴れた日が続き、夏休み後半には、雨が多く降るなど、草がよく育った夏になりました。多くの人が参加して汗を流してくださったおかげで、学校が見違えるように美しくなりました。

天気が心配されたなか、本当にありがとうございました。また、たくさんの子どもたちが参加してくれてうれしく思います。自分のことだけでなく、まわりの役に立つ経験を積み重ねることで、達成感や満足感、自己肯定感が高まり、人はどんどん成長できます。ご家庭での声掛けありがとうございました。